

いぶき23号平成24年12月

世界の偉人たち「驚きの日本発見記」

第22回：ヴァーシリィ・ゴロヴニン（1776～1831年）



「日本の国民教育については、全体として一国民を他国民と比較すれば、日本人は天下を通じて最も教育の進んだ国民である。日本には読み書きの出来ない人間や、祖国の法律を知らない人間は一人もいない。」

「日本人は農業、園芸、漁業、狩猟、絹および綿布の製造、陶磁器および漆器の製作、金属の研磨については、殆んどヨーロッパ人に劣らない。彼らは鉱物の精錬もよく承知して居り、いろいろな金属製品を非常に巧妙に作っている。指物および轆轤（ろくろ）業は日本では完成の域に達

している。その上、日本人はあらゆる家庭用品の製造が巧妙である。だから庶民にとってはこれ以上、開化の必要は少しもないのである。」

「日本人はあらゆる階級を通じて、対応が極めて丁寧である。日本人同志の礼儀正しさは、この国民の本当の教養を示すものである。」

（出典：『日本幽囚記』ゴロヴニン著、井上満訳、岩波文庫）